

お知らせ

8月12日～16日は夏季休業のため、組合事務所が閉所します。また、8月28日は研修のため組合事務所が閉所します。お手続きは早めをお願いします。

朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡 3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第183号 定価300円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saltama-doken.or.jp

国民平和大行進

感染症対策に対応した取り組み



朝霞市人権庶務課から4人の職員が対応し

7月6日(月)9時30分、市役所内にて、6団体8人が参加し、「原水爆禁止国民平和大行進」が取り組まれました。今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、集会やデモ行進は行わず、朝霞市との懇談という形をとりました。朝霞市は人権庶務課から4人の職員が対応してくれました。

懇談に先立ち、「朝霞市」と「朝霞市議会」から平和大行進への賛同金が手渡されました。埼玉土建の井口書記の司会で始まり、共産党山口市議より「今年は被爆75年という節目の年にあたります。2017年の国連会議で核兵器禁止条約が採択され、批准国は38カ国となり、条約発

市職員との懇談
被爆75年の節目

20年原水爆禁止国民平和大行進は、例年通り7月の第一週目の日曜日、新座市・志木市から始まりました。

志木地域は学習会、朝霞地域は市職員との懇談、和光地域は街頭宣伝と三密をさけるため集会・デモ行進は行わずに開催しました。

効の50カ国まであと12カ国となりました。世界で唯一の被爆国でありながら、核兵器禁止条約に背を向ける日本政府に対し、条約参加・調印・批准することを強く求めたい。朝霞市としても協力して欲しい。」と要望しました。

市職員から「朝霞市は毎年8月6日・9日・15日には、全職員が黙とうを捧げています。また、広島、長崎に送る折り鶴の取り組みも行っています。戦争体験者の話を聞

代表者による学習会
工夫をして運動再開

志木市

7月5日(日)、午前11時から志木地域平和行進を、宗岡第2公民館(志木市総合福祉センター)で開催し、7団体9人(土建から3人)が参加しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症防止のため、通常の集会・デモ行進は行わず、団体の代表者が集まり、埼玉土建の佐藤書記から、平和行進の意義・目的、歴史についての学習資料の読み合わせを行いました。また参加団体の新婦人や年金者組合・志木9条の会などから近況報告がされました。どの団体も署名行動や宣伝に取り組みでいましたが、コロナの影響で運動がと



7団体9人が参加し=宗岡第2公民館にて



6団体8人が参加し=朝霞市役所にて

く取り組みも続けていきたい」と私たちの行動に賛同してくれました。

また、「非核平和宣言」

都市宣言」を朝霞市として採択するよう要望し終了しました。

【黒目川 藤原忠夫】

前進

新型コロナウイルス感染症を知らない世代だ。「テレビ」「読み物」「戦争を体験した方からの体験談」でしか戦争の悲惨さは知らない。今年は戦後75年となる。日本の人口に対し、75歳以上の方の割合は14.7%となっている。(2019年統計) 当時は「満20歳に達したものは徴兵検査を受検しなくてはならない」とあったそう。

つまり、出兵した方の戦争体験を聞くこととしたら、95歳以上の方から聞けるかどうかということになる。私が小さい頃は、学校の行事や修学旅行先で戦争体験の話聞いたものだ。しかし、今の子どもたちが戦争体験を聞くことは、なかなか難しいだろう。私が組合に加入した20年前なら、高齢の組合員さんから戦争体験を聞くこともできた。今となつては、戦争体験を語る組合員さんを探すことは難しい。▼映画や小説から悲惨な戦争体験を学ぶことも良いが、実際に体験した方から話を聞くことは貴重な体験だ。実体験を聞くことは今以外にない。(一)